

マグネティック・マイティーマインド

対象年齢

3歳ごろ～

セット内容:

カード×30枚(30問)、タイル×32個

「見つける」「合わせる」「組み立てる」というステップで、まる・さんかく・しかくという基本のかたち慣れ、2つ以上のかたちを組み合わせ、別の新しいかたちをつくるかたち遊び。子どもたちが自然にステップアップできるように考えられた難易度のカードは、順番に進めることにより、問題に取り組み、自分で考える力を育てます。

あそび方:

まずはタイルにマグネットを付けずに遊んでみましょう。

低年齢の子どもにとって、小さなタイルを指先で動かして、絵柄が示す枠内に正確に置くことは、とても難しく集中力が必要です。指先を細かく動かすことで、手のひらや指先の筋肉を上手にコントロールし、思いどおりに手を動かす練習にもなります。この練習は、「書く」「フォークやお箸を使う」「ひもを通す」「ボタンを留める」など日常生活に必要な動作の基礎となります。

次にタイルの裏にマグネットを付けて遊んでみましょう。パッケージのフタの裏面に問題カードを配置すれば、タイルが動かないので低年齢の子どもでも集中して取り組むことができます。

マグネットの貼付方法

マグネットの裏についているステッカーをはがし、それぞれの形のタイルに貼り付けます。

マグネット部分がタイルからはみ出してしまった場合は、ハサミで切り取ってください。

※ステッカーは一度貼り付けると、はがすことができません。

※タイルにマグネットを付ける時には、貼付面をきれいに拭いてから貼ってください。汚れが付着していると、ステッカーが剥がれやすくなります。

ステップアップできる問題カード

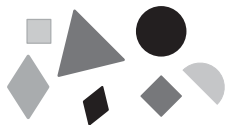
カードは番号が大きくなるにつれて、難しくなっていきます。

●カード1～10まで

大きいタイルのみ使います。

①「かたちを見つける」

まずは吹きだしに描かれているかたちををよく観察して、そこに隠れている「まる・さんかく・しかく」の幾何学形を見つけます。



②「かたちを合わせる」

かたちを見つけることができれば、必要なタイルを選び、吹きだしの絵柄の上に合わせます。

③「かたちを組み立てる」

左下にかかれたシルエットのかたちになるよう、吹きだしの上に置いたタイルを組み合わせます。どんな向きに置いたらよいか考えながら、組み立てます。

●カード11～18まで

小さいタイルも使います。遊ぶ手順はカード1～10までと同じです。

●カード19～30

カード19から問題がむずかしくなります。大きなかたちを構成する必要なかたちを見つけ出し、タイルを選んで絵柄を完成させます。

●カード21・24・27・29

タイルの上にさらにタイルを重ねて絵柄を完成させます。

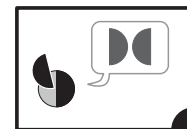
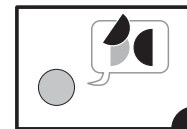
●カード22・26・28・29・30

数字の入ったリボンマークが付いています。丸の中に示されている数字より少ない数のタイルで構成することができるという意味です。指定の枚数以内で完成できるように挑戦しましょう!

初級編のマグネティック・マイティーマインドで楽しく遊ぶことができれば、カード31から60と、より難易度の高い問題カードをそろえた上級編の「マグネティック・スーパーマインド」にステップアップすることができます。



© 2009 Leisure Learning Products, Inc., All Rights Reserved. Visit us online: www.mightymind.com
652 Glenbrook Rd. #8 POB 2697 • Stamford, CT 06906 USA. (203) 325-2800 • e-mail - staff@mightymind.com



15

15枚以下の
タイルで作ってみよう!

株式会社ボーネルンド

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-3-12 ジブラルタ生命原宿ビル 3F

☎0120-358-518 [月～金 10:00～17:00 (土日・祝祭日を除く)] www.bornelund.co.jp

あそびと教育



ボーネルンド